

平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	沖縄南北大東地区ブロードバンド環境緊急整備事業		担当部局	内閣府政策統括官(沖縄政策担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度(補正)~23年度		担当課室	企画担当参事官室		企画官 和久屋 聡		
会計区分	一般会計		施策名	9. 沖縄政策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法		関係する計画、通知等	沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄の離島の中でも、特に情報通信基盤が脆弱な南北大東地区において、その高度化に向けた整備を行い、離島振興及び情報格差の解消を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地上デジタル放送実施のために、別途、沖縄本島と南大東島間の海底光ケーブルが敷設されることから、この海底光ケーブルを通信にも利用できるように、海底光ケーブルと接続した光ケーブル等の島内インフラの整備を行う。 実施主体: 沖縄県 補助率: 2/3							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位: 百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	0	0	-	
		繰越し等	-	-	167	0	-	
		計	-	-	△ 167	167	-	
	執行額	-	-	0	0	167	-	
	執行率 (%)	-	-	0%	0%	100%	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(27年頃)
	2015年(平成27年)頃を目途に「光の道」(全世帯がブロードバンドサービスを利用)の実現(新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定))		成果実績	%	-	-	-	100
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	南北大東地区におけるブロードバンド環境の整備率		活動実績	%	-	-	0	-
			(当初見込み)	%	-	-	(100)	(100)
単位当たりコスト	-		(円/)	算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	離島振興や情報格差の解消は国の責務である。また、海底光ケーブル敷設を行う事業の遅延により、本事業についても時間を要しているものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成21・22年度実施の南北大東地区地上デジタル放送推進事業により整備される海底光ケーブルを利用するものであり、実効性の高い手段である。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>南北大東地区地上デジタル放送推進事業により整備される海底光ケーブルを利用し、南北大東地区における光ケーブル等の島内インフラを整備するものであり、海底光ケーブルの敷設工事の遅延に伴い、本事業も時間を要したため、平成23年度に繰り越しとなっているところ。海底光ケーブルについては敷設が完了していることから、引き続き、平成23年度における本事業の円滑な事業完了を目指す。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>具体的な目標設定の明確化、事業の効果及び費用対効果を検証し、総合的な取り組みを図るべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					